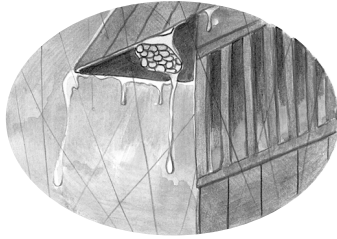


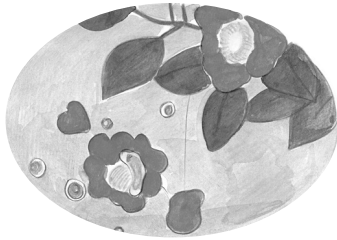


はる さめ 春雨や はち す 蜂の巣つたう や ね 屋根のもり



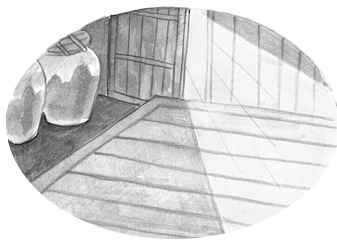
まつ お ばしょう
松尾芭蕉

つばき お 椿落ちて き の う の 雨を あめ こぼしけり



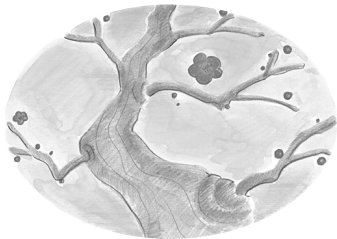
よ さ ぶ そん
与謝蕪村

うら もん 裏門の ひ と り で に あ く ひ な が 日永かな



こ ば や し い っ さ
小林一茶

うめ いち りん 梅一輪 いち りん 一輪ほどの あた た 暖かさ



は っ と り ら ん せ っ
服部嵐雪



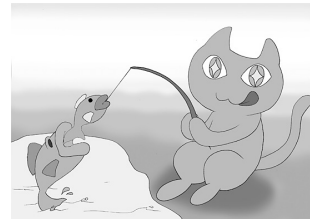
いち ご いち え
一期一会

いっしょう いち ど あ き かい
一生にたった一度しか会う機会がないような
えん
縁であること。いっしょう いち ど
の出会い。



いっ きょりょうとく
一挙両得

ひと ふた り えき え
一つのことで二つの利益を得ること。



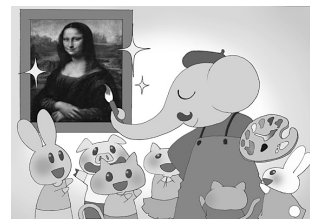
いん が おう ほう
因果応報

おこな おう むく
行いに応じて報いがあること。



かん ぜん む けつ
完全無欠

まった けっ てん
全く欠点がないこと。





《憲法のうた》

(1946年 日本国憲法公布 翌年施行される)

憲法は 国が決めた 最高法規

第1条 主権は国民 天皇は 国民の象徴

第9条 戦争は 永久に 放棄する

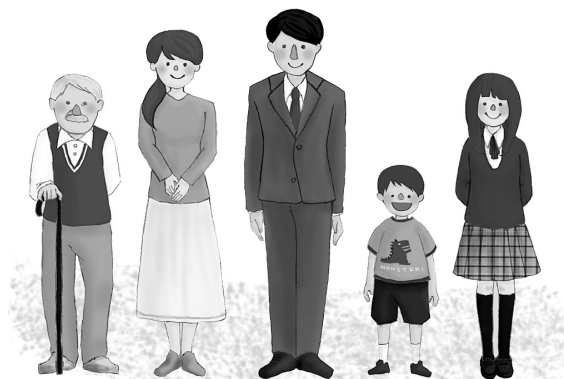
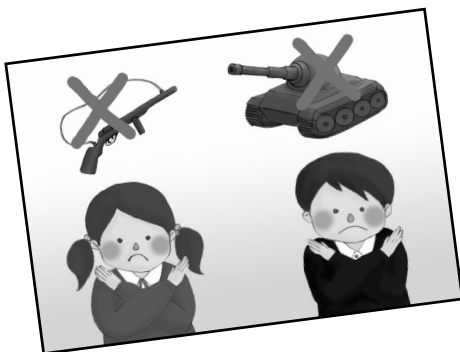
第25条 国民は 健康で文化的な 最低限度の生活を営む権利

第96条 憲法改正は 国会で 議員全員の3分の2の賛成で

国民投票おこなえる

国民の 過半数の賛成で 改正される

憲法の 三つの柱 国民主権 基本的人権の尊重 平和主義





しゃ か せつ ぽう
釈迦に説法

その道を知り尽くしている人に unnecessary 教えを説く愚かさをたとえたもの。



とう ふ
豆腐にかすがい

すこ ても
少しも手ごたえのないこと。



か ほう ね ま
果報は寝て待て

こう うん ま
幸運はあせらず待つのがよい。



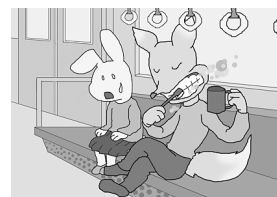
わざわ てん ふく
禍い転じて福となす

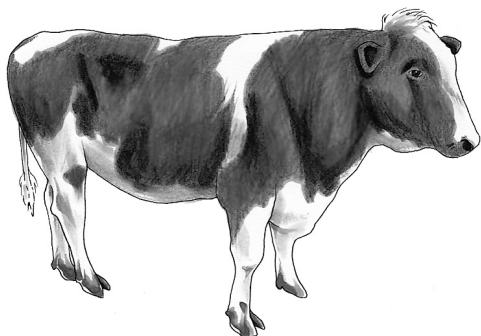
身に降りかかってきた禍いをうまく利用して、かえって幸福になるようにもっていく。



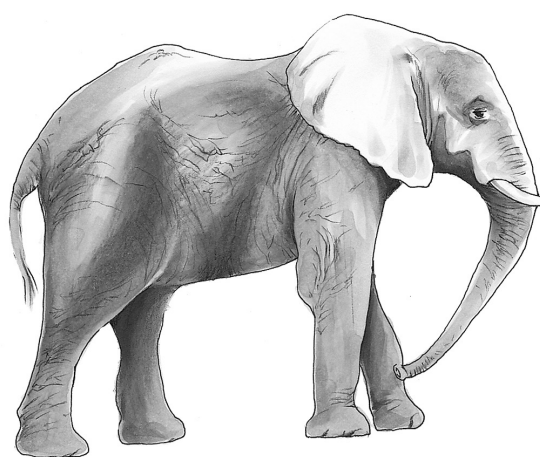
あ くち
開いた口がふさがらぬ

あきれている様子
あきれている様子。

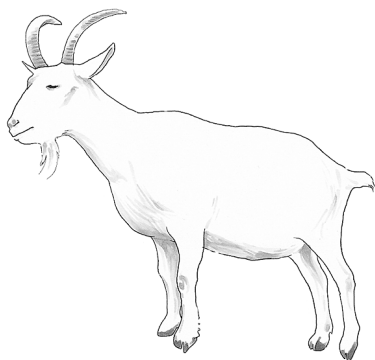




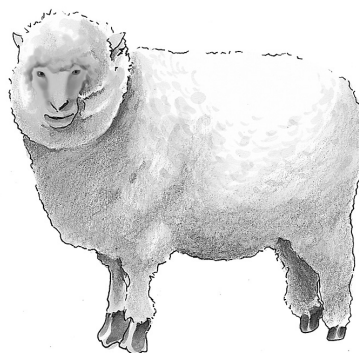
ウシ



ゾウ



ヤギ



ヒツジ



小^お倉^{ぐら}山^{やま}
峰^{みね}の
今^{いま}も
ひとみ
とち^じ
た葉^は
びの心^{こころ}
あらば
みゆき待^ま
たなむ^ん

(貞^{てい}信^{しん}公^{こう})

名^なに
逢^{おう}坂^{さか}
山^{やま}の
人^{ひと}に
知^しられ
でさね
かづ^ず
ら
くるよし
もがな

(三^{さん}条^{じょう}右^う大^{だい}臣^{じん})

